

事業名		道路管理					予算事業コード		1168001		
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費				
目		01		道路橋りょう総務費							
部局名		都市整備部			課室名	道路安全課			担当名	道路管理担当	
目標像		2	安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		1	安全で快適な道路の整備							枝番号	1

1. 事業の概要 PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	道路利用者				
事業の目的	道路台帳の整備及び道路障害物の除去を行い、道路を管理し良好な状態に保つことにより、道路利用者が、安心安全に通行できる道路状態にする。				
活動概要	台帳整備のため、市内道路・水路の現地踏査及び測量を実施する。 また、定期的な道路パトロールを実施し道路の安全な通行帯を確保する。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力				
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☒ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名	複写機点検業務委託、道路・水路台帳補正業務委託、道路・水路台帳システム改修業務委託、測量業務委託、不法投棄物等撤去業務委託、不法投棄残土処理委託、違法屋外広告物撤去等業務委託				
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績 DO

実績	指標名		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動実績	台帳整備率	%	100	100	100	100	100	100
		道路パトロール回数	回	26	26	26	26	26	26
実績	成果実績	市民要望対応件数	件	161	153	210	100	100	100
	具体的な成果の説明								
費用			単位	4年度	5年度	6年度			
	事業費	予算額		千円	38,047	40,493	59,613	40,151	10,789
		決算額		千円	30,118	33,639	48,824	—	執行率
		財源内訳	一般財源		千円	30,085	33,601	48,791	40,124
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	33	38	33	27
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0	0	
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0	

事業名		道路管理					予算事業コード		1168001				
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	01	道路橋りょう総務費			
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		道路管理担当		
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる									
施策番号		1		安全で快適な道路の整備							枝番号		1

3. 事業の評価 CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			A
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	市道の境界未確定箇所を解消し、道路台帳の精度を高める必要がある。 要望対応は全ての解消には至っていない。			

4. 今後の方向性 ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	道路台帳は、民地所有者からの境界確認や境界証明の機会を捉えながら、継続的にデータを更新して精度を高める。 道路の安全確保については、定期的実施している道路パトロールや市民からの通報により迅速に対応を行い、安全安心な道路環境を確保していく。

事業名		道路維持					予算事業コード		1171001						
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費								
部局名		都市整備部				課室名		道路安全課		目	02	道路維持費			
部局名		都市整備部				課室名		道路安全課		担当名		工務担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる											
施策番号		1		安全で快適な道路の整備								枝番号		2	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	市内在住在勤者及び和光市道利用者				
事業の目的	道路及び道路付属物(側溝・街路樹等)を適正に管理し、快適な道路空間を維持し、良好な住環境の推進に寄与する。				
活動概要	市道の路面清掃、側溝清掃、植樹帯管理を行う。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業	☒ 一部委託	☐ 全部委託	☐ 指定管理	☐ 協働・協力
委託先	☐ 第3セクター・財団法人	☒ 企業	☐ 市民団体・NPO法人		
委託業務名	路面清掃業務委託(単契1〜3)、側溝清掃業務委託(高圧洗浄)(単価契約その1〜3)、市道2002号線他ログランター管理業務委託他				
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

指標名			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
活動実績	路面清掃延長		m	27,370	24,000	27,770	27,770	20,000	20,000
	側溝清掃延長		m	358	559	787	787	1,500	1,500
	植樹帯管理延べ面積		m ²	40,824	44,297	38,334	38,334	70,000	70,000
	剪定本数		本	1,503	859	1,235	1,235	1,600	1,600
	路面清掃 27,770m、側溝清掃 787m、除草等 38,334m ² 、中高木剪定 1,235本、街路樹マネジメント方針に基づき高木の伐採を行った。道路の維持については、住環境の向上や豪雨対策にもなることから、年間を通じて実施した。								
実績	具体的な成果の説明								
費用			単位	4年度	5年度	6年度			
	事業費	予算額		千円	93,673	132,167	131,693	7年度	不用額
		決算額		千円	92,046	126,541	128,320	133,284	3,373
				千円	92,046	126,541	116,820	—	執行率
				千円	92,046	126,541	116,820	133,284	97.4%
	人件費	一般財源		千円	0	0	11,500	0	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0	0	
		会計年度職員数		人	0	0	0	0	
費用	人件費	会計年度職員数		人	0	0	0	0	
		会計年度職員数		人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0	

事業名		道路維持				予算事業コード		1171001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	02	道路維持費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		工務担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		1		安全で快適な道路の整備							枝番号		2	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	A
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
施策への 貢献度	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	樹木の育成により、歩行空間及び通行の安全確保への影響が出ており、作業の人件費等も高騰しているため、限られた予算の中で適正な維持管理を継続することが難しい状況にある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	和光市街路樹マネジメント方針(R5.5月策定)に則り、街路樹及び植樹帯を管理していく。

事業名		道路補修					予算事業コード		1173001						
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費			目	02	道路維持費			
部局名		都市整備部				課室名		道路安全課				担当名		工務担当	
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる											
施策番号		1		安全で快適な道路の整備								枝番号		3	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	市内在住在勤者及び和光市道利用者				
事業の目的	道路が適切に維持管理され、道路が起因となる事故の心配が無く利用することができるようにする。				
活動概要	市道維持としての舗装補修、歩道の段差解消、道路側溝の補修工事を行う。				
補助金活用	あり	補助金名	社会資本総合交付金(埼玉県道路計画)、道路メンテナンス事業補助金		
実施形態	☐ 市による単独事業	☒ 一部委託	☐ 全部委託	☐ 指定管理	☐ 協働・協力
委託先	☐ 第3セクター・財団法人	☒ 企業	☐ 市民団体・NPO法人		
委託業務名	市道408号線舗装修繕工事他				
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

	指標名		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
実績	活動実績 成果実績	舗装補修工事延長	m	3,381.9	3,124	1,750	1,750	1,000	1,000
		舗装修繕箇所数	箇所	30	29	26	26	60	60
		緊急箇所数	箇所	54	45	47	47	60	60
	限られた予算の中で、舗装修繕 26箇所、緊急工事 47箇所を実施することで、車両、歩行者の通行の安全性を高めた。								
費用	事業費	財源内訳	単位	4年度	5年度	6年度			
			予算額	千円	207,623	254,162			
			決算額	千円	198,765	229,409			
			一般財源	千円	100,240	107,799			
			特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	98,525	121,610			
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0	0	96.7%
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0	

事業名		道路補修				予算事業コード		1173001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	02	道路維持費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		工務担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		1		安全で快適な道路の整備							枝番号		3	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			A
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			A
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある		
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	修繕箇所によっては、暫定的な修繕対応の場合もあるが、今後も早期対応することにより、効率的にかつ計画的に工事を実施する必要がある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	引続き道路状況の調査を実施し、より効果的な維持補修に努める。

事業名		道路整備					予算事業コード		1174001						
款	08	土木費			項	01	道路橋りょう費								
目		03		道路新設改良費											
部局名		都市整備部				課室名		道路安全課		担当名		工務担当、道路管理担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる											
施策番号		1		安全で快適な道路の整備								枝番号		4	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	道路利用者及び周辺住民				
事業の目的	道路拡幅、歩道の設置により安全な道路となっているようにする。				
活動概要	道路の拡幅・歩道の設置工事を行う。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☒ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力				
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名					
会計年度職員	－ 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度	
指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標	
活動実績 成果実績	道路改良延長		m	337	111	153	153	50	50	
	道路用地買収面積		m ²	57	6	75	75	30	30	
	歩道整備延長		m	17	20	19	19	50	50	
実績			道路拡幅用地として、75mを買収した。							
			道路改良工事を153m実施した(うち歩道整備 19m含む)。歩行者等の安全な通行を目的として実施した。							
			単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額	
費用	事業費	予算額		千円	167,870	113,890		40,000	36,826	6,665
		決算額		千円	147,475	93,336		33,335	-	執行率
	財源内訳	一般財源		千円	22,132	13,236		12,335	18,026	83.3%
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	125,343	80,100		21,000	18,800	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0		0	0	
会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0	0				
会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0				

事業名		道路整備				予算事業コード		1174001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	03	道路新設改良費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		工務担当、道路管理担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		1		安全で快適な道路の整備							枝番号		4	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			A
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			A
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある		
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	安全のために道路整備を必要とする箇所は多いが、用地の取得が難しく、計画的な整備が難しい状況にある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	地域の開発や交通量の変化を踏まえ、機会を捉えて土地所有者に交渉を行い、道路用地の取得に努めていく。

事業名		水路管理・改修				予算事業コード		1175002		
款	08	土木費		項	02	河川費				
部局名		都市整備部			課室名	道路安全課			担当名	工務担当
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		1 安全で快適な道路の整備							枝番号	5

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	市内在住在勤者				
事業の目的	豪雨時において雨水の処理が適切になされるようにする。				
活動概要	水路の整備及び清掃を行う。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力				
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☒ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名	越戸川親水施設維持管理業務委託、水路1号線他維持管理業務委託他				
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

実績	指標名		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動実績	水路浚渫延長	m	317.5	472	330	330	500	500
実績	成果実績	除草面積	m ²	11,323.9	5,242	11,969	11,969	10,000	10,000
	成果実績	水路改修延長	m	55.8	27	6	6	50	50
	成果実績								
	具体的な成果の説明	水路浚渫工事を330m、水路清掃・除草業務を11,969m ² 、水路改修工事を6m行った。							
費用	事業費			単位	4年度	5年度	6年度	7年度	不用額
		予算額		千円	12,316	18,055	19,144	14,473	62
		決算額		千円	12,201	17,881	19,082	—	執行率
		財源内訳	一般財源	千円	12,201	17,881	19,082	14,473	99.7%
			特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0	0	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0	0	
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0	

事業名	水路管理・改修				予算事業コード	1175002	
款	08	土木費	項	02	河川費	目	01 河川総務費
部局名	都市整備部			課室名	道路安全課	担当名	工務担当
目標像	2	安全かつ快適に移動ができる					
施策番号	1	安全で快適な道路の整備					枝番号 5

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	A
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	定期的に水路の浚渫・除草等を実施しなければ、雨水排水に支障をきたしてしまうため、実施時期を含めた効率的な対応が求められる。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	水路の状況把握に努め、支障箇所を速やかに対策を講じ、良好な状態を維持する。

事業名		都市計画業務				予算事業コード		1177040		
款	08	土木費		項	03	都市計画費				
						目	01	都市計画総務費		
部局名		都市整備部			課室名		都市整備課		担当名	計画担当
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		1 安全で快適な道路の整備							枝番号	6

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務		☐ 自治事務(義務的なもの)		☒ 自治事務(任意のもの)	
根拠法令等	なし					
事業の対象	未整備都市計画道路区域内及び周辺の地権者、関係権利者及び市民					
事業の目的	一般国道254号和光バイパスの整備と併せ優先的に整備を行う都市計画道路諏訪越四ツ木線は、地権者等の協力を得ながら安全かつ快適に移動できる道路が形成されている。					
活動概要	都市計画道路諏訪越四ツ木線の各種調査設計を行う。					
補助金活用	なし	補助金名				
実施形態	☐ 市による単独事業		☒ 一部委託		☐ 全部委託	
委託先	☐ 第3セクター・財団法人		☒ 企業		☐ 市民団体・NPO法人	
委託業務名	都市計画道路諏訪越四ツ木線道路予備設計業務委託(その2) 都市計画道路諏訪越四ツ木線地質等調査業務委託					
会計年度職員	－	人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
活動実績 成果実績	都市計画道路諏訪越四ツ木線の調査設計進捗率		%	7	9	25	25	30	94
実績	具体的な成果の説明		令和6年度は、道路設計及び設計に必要な地質調査を行った。						

			単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額	
事業費	予算額		千円	25,293	27,784	28,272		5,915	6,071	
	決算額		千円	23,134	26,620	22,201		－	執行率	
	財源内訳	一般財源		千円	23,134	26,620		22,201	5,914	78.5%
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	1	
人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0		0		
	会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0		0		
	会計年度職員人件費		千円	0	0	0		0		

事業名		都市計画業務				予算事業コード		1177040				
款	08	土木費		項	03	都市計画費		目	01	都市計画総務費		
部局名		都市整備部			課室名		都市整備課		担当名		計画担当	
目標像		2	安全かつ快適に移動ができる									
施策番号		1	安全で快適な道路の整備								枝番号	6

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	B
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			B
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	安全で快適な移動の実現のため、早期に都市計画道路諏訪越四ツ木線の整備を行うことが必要である。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	都市計画道路諏訪越四ツ木線の整備推進に向け、引き続き調査設計を進めていく。

事業名		駅南口広場維持管理						予算事業コード		1183002					
款	08	土木費			項	03	都市計画費					目	05	街路事業費	
部局名		都市整備部				課室名		道路安全課				担当名		工務担当	
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる													
施策番号		1 安全で快適な道路の整備										枝番号		7	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)	☐ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	道路法				
事業の対象	広場利用者				
事業の目的	交通機関が利用しやすい環境にする。				
活動概要	駅南口駅前広場の補修及び改修、広場清掃、トイレ清掃、除草等、維持管理を行う。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業	☒ 一部委託	☐ 全部委託	☐ 指定管理	☐ 協働・協力
委託先	☐ 第3セクター・財団法人	☒ 企業	☐ 市民団体・NPO法人		
委託業務名	南口駅前広場多機能トイレ修繕他				
会計年度職員	－ 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度		
指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標		
活動実績 成果実績	修繕件数		件	2	5	8	8	5	5		
	剪定及び除草件数		件	3	5	2	2	2	2		
	緊急工事件数		件	0	0	0	0	0	0		
実績	具体的な成果の説明		駅南口広場の維持管理として、トイレ清掃、広場清掃及び樹木管理を行っている。 修繕については、広場のトイレの修繕を実施した。								
費用			単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額		
	事業費	予算額		千円	6,477	6,631		6,850	7,032	1,072	
		決算額		千円	5,745	6,261		5,778	－	執行率	
		財源内訳	一般財源		千円	5,745		6,261	5,778	7,032	84.4%
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0		0	0	0	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0		0	0		
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0		0	0		
会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0					

事業名		駅南口広場維持管理				予算事業コード		1183002						
款	08	土木費		項	03	都市計画費		目	05	街路事業費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		工務担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		1		安全で快適な道路の整備							枝番号		7	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	A
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	経年による劣化も見られることから、より一層効率的な運営が求められる。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	適正な事務執行に努めたい。

事業名		街路事業		予算事業コード		1183010			
款	08	土木費	項	03	都市計画費	目	05	街路事業費	
部局名		都市整備部		課室名		道路安全課		担当名	工務担当
目標像		2安全かつ快適に移動ができる							
施策番号		1		安全で快適な道路の整備				枝番号	8

1. 事業の概要PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務(義務的なもの) ☐ 自治事務(任意のもの)		
根拠法令等	都市計画法		
事業の対象	市内在住在勤者及び和光市道利用者		
事業の目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた市街地形成を図り、安全で快適な都市生活や都市活動に寄与する。		
活動概要	都市交通施設機能等の推進を行う。		
補助金活用	なし	補助金名	
実施形態	☒ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 協働・協力		
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人		
委託業務名			
会計年度職員	－人	会計年度職員業務内容	

2. 事業の実績DO

			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度		
指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標		
実績	活動実績 成果実績	全国街路事業促進等に関する活動		回	1	1	1	1	1	1	
		駅前広場整備検討活動		回	-	-	-	-	1	1	
		都市交通拠点		箇所	-	-	-	-	1	1	
		令和6年11月26日開催の安全・安心の道づくりを求める全国大会(要望活動)に和光市長出席。 駅前広場整備検討活動は令和7年度以降に実施予定。									
		具体的な成果の説明									
費用	事業費	予算額		千円	27	27	27		24,579	0	
		決算額		千円	13	27	27		-	執行率	
		財源内訳	一般財源		千円	13	27		27	17,214	100.0%
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	7,365	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0		0		
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0		0		
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0		0		

事業名		街路事業				予算事業コード		1183010				
款	08	土木費		項	03	都市計画費		目	05	街路事業費		
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		工務担当	
目標像		2	安全かつ快適に移動ができる									
施策番号		1	安全で快適な道路の整備							枝番号		8

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	A
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	A
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	A
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	安全で快適な都市生活や都市活動を推進するため、交通事業者等と継続的な協議が必要である。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	社会変化を考慮して、駅前広場や交通拠点など都市活動を支える施設を整備・維持に努める。

事業名		外環蓋掛け上部(丸山台地区)利用				予算事業コード		1016025		
款	02	総務費		項	01	総務管理費		目	08 企画費	
部局名		企画部			課室名	資産戦略課		担当名	計画推進担当	
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		2 利便性の高い地域公共交通網の形成							枝番号	1

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務 ☐ 自治事務(義務的なもの) ☒ 自治事務(任意のもの)	
根拠法令等	なし	
事業の対象	市民及び公共交通の利用者	
事業の目的	外環上部丸山台地区約9,300㎡について、遊休資産の有効活用を図る。	
活動概要	外環上部丸山台地区利活用の実現性の確認を踏まえて、活用方針、導入機能、利用方策、かつ民間活力導入を踏まえた事業性の検討等を行う。	
補助金活用	なし	補助金名
実施形態	☒ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力	
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人	
委託業務名		
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容

2. 事業の実績

DO

	指標名	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
	活動実績	回	4	10	7	8	8	8
実績	成果実績							
	成果実績							
	具体的な成果の説明	外環上部丸山台地区利活用に係るNEXCO東日本と協議を行った。また、市民のニーズを図る目的で、令和5年度から立ち上げた公募市民による公共空間利活用プロジェクトを通して、広場の利活用の可能性を確認した。このプロジェクトの結果を確認したうえで、事業者等と具体的な利活用の可能性について協議を行った。 ■令和6年度関係団体との協議回数内訳 ・NEXCO東日本との対面協議件数 1件(対面 1回)、その他(メールでの協議 9回) 道路占用の範囲内で利活用していくための条件について、協議を行った。 ・公共空間利活用プロジェクト 1件 プロデュース会議 1回、プロデュース企画 1回 ・事業者等との協議件数 5件(NEXCO東日本除く) 利活用の可能性について、協議を行った。						
	費用	単位	4年度	5年度	6年度			
	事業費	予算額	千円	25	25	27	20	14
		決算額	千円	12	10	13	—	執行率
	財源内訳	一般財源	千円	12	10	13	20	48.1%
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0	0	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員数(パートタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費	千円	0	0	0	0	

事業名		外環蓋掛け上部(丸山台地区)利用			予算事業コード		1016025
款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08 企画費
部局名		企画部		課室名	資産戦略課	担当名	計画推進担当
目標像	2	安全かつ快適に移動ができる					
施策番号	2	利便性の高い地域公共交通網の形成					枝番号 1

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			B
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			A
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			B
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			C
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			B
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			A
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			C
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			C
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	敷地には高低差があり、インフラが引きこまれていない。また、周辺道路の交通量が多いにも係わらず道路付けが悪いなど、利活用するには一定の制約がある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☐ 継続 ☒ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	今までは、駅を中心とした地域の交通ターミナル化を推進し、公共交通機関等の更なる利便性の向上を図ることを目的としていたが、立体道路制度の活用が困難であることが判明したため、今後の方向性として、利活用の基本方針を策定し、道路占用制度を前提に検討を進める。

事業名		市内循環バス運行				予算事業コード		1063001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		公共交通政策室		担当名		公共交通政策担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		2		利便性の高い地域公共交通網の形成							枝番号		2	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務 ☐ 自治事務(義務的なもの) ☒ 自治事務(任意のもの)		
根拠法令等	和光市内循環バス運行事業実施要綱、和光市内循環バス運行事業交付金交付要綱		
事業の対象	市内循環バスを利用する人		
事業の目的	市内拠点までの短距離交通が充実し、日常生活における外出で使える交通サービスが提供されている。		
活動概要	「和光市地域公共交通計画」に基づき、市内循環バスの誰もが迷わずわかりやすい利用環境及び情報の提供や、移動ニーズに応じた効率的な運行を実施する。		
補助金活用	なし	補助金名	
実施形態	☐ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 協働・協力		
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人		
委託業務名			
会計年度職員	－人	会計年度職員業務内容	

2. 事業の実績

DO

実績	指標名		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標		
	活動実績	年間運行本数	便	7,561	9,658	16,194	16,820	16,204	16,204		
成果実績	年間利用者数	人	146,910	155,366	164,305	104,283	181,000	181,000			
	主要拠点でのバス平均待ち時間	分	30	30	22	15	15	10			
	収支率	%	12.8	13.7	20.8	29.7	35.0	35.0			
実績	具体的な成果の説明										
	令和6年1月実施の市内循環バスの運行見直しにより、主要拠点でのバス平均待ち時間の短縮が図られ利便性が向上した。収支率については、併せて実施した料金改正（一般・優待）に伴う利用者減少を懸念していたが、運行ルートの見直しにより、利用者数が増加したことで、想定以上の収支率が得られた。 1 赤池コース（運行本数：3,358便、利用者数：56,185人、運行事業者：東武バスウエスト株式会社） 2 越後山コース（運行本数：2,999便、利用者数：28,959人、運行事業者：東武バスウエスト株式会社） 3 向山・牛房コース（運行本数：2,999便、利用者数：29,161人、運行事業者：東武バスウエスト株式会社） 4 白子・吹上コース（運行本数：3,358便、利用者数：29,459人、運行事業者：株式会社和光輸送） 5 坂下・新倉コース（運行本数：3,480便、利用者数：20,541人、運行事業者：株式会社和光輸送）										
費用			単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額		
	事業費	予算額		千円	48,821	64,096		93,028	75,184	8,376	
		決算額		千円	47,542	62,947		84,652	-	執行率	
		財源内訳	一般財源		千円	47,542		61,947	68,652	75,184	91.0%
			特定財源（国県補助、利用者負担等）		千円	0		1,000	16,000	0	
	人件費	会計年度職員数（フルタイム）		人	0	0		0	0		
		会計年度職員数（パートタイム）		人	0	1		0	0		
会計年度職員人件費		千円	0	1,093	0	0					

事業名		市内循環バス運行				予算事業コード		1063001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		公共交通政策室		担当名		公共交通政策担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		2		利便性の高い地域公共交通網の形成							枝番号		2	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			A
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			B
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			B
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある		
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	令和6年1月の運行見直しによって、拠点までの短距離交通の充実を図ったが、利用者数及び収支率はより大きな増加が必要であり、利用環境及び情報提供の充実や、利便性の向上が課題である。また、運転手不足による事業継続性が課題であり、支援策の検討が必要である。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	令和6年1月実施の運行見直しにより段階的に改善されてきている。今後の利用状況を注視し、よりメリハリある効率的な運行の実現を目指して事業者と連携していく。

事業名		地域公共交通				予算事業コード		1172200				
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費		
部局名		都市整備部			課室名		公共交通政策室		担当名		公共交通政策担当	
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		2		利便性の高い地域公共交通網の形成							枝番号	3

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☐ 自治事務(義務的なもの)			☒ 自治事務(任意のもの)		
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、和光市公共交通空白地域タクシー利用料金助成事業実施要綱								
事業の対象	市内を移動する人								
事業の目的	全ての市民の移動の自由の確保に向けて、利便性の高い地域公共交通網が形成されている。								
活動概要	全ての市民の移動の自由の確保を目指し、「和光市地域公共交通計画」に基づき、高い水準の地域公共交通ネットワークを維持・充実させるための施策の実施や地域公共交通会議での協議調整をする。さらに、市内拠点間の交通軸として自動運転サービス導入事業の事業化を図るため、市民との意見交換や事業者との連携を実施する。								
補助金活用	あり	補助金名	社会資本整備総合交付金(公共交通政策室)、デジタル田園都市国家構想交付金、ノンステップバス導入促進事業補助金、地域公共交通DX・コンパクトプラスネットワーク促進						
実施形態	☐ 市による単独事業		☒ 一部委託		☐ 全部委託		☐ 指定管理		☒ 協働・協力
委託先	☐ 第3セクター・財団法人		☒ 企業		☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名	地域公共交通計画推進支援業務委託料、自動運転サービス導入に関する実証実験等支援業務委託料、自動運転サービス導入に関する効果検証における人流等調査業務委託料、沿道環境調査業務委託料、自動運転サービス導入に関する3次元地図データ作成業務委託料								
会計年度職員	—	人	会計年度職員 業務内容						

2. 事業の実績

DO

				単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度	
指標名					実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標	
実績	活動実績	地域公共交通会議の開催数		回	3	2	3	3	3	3	
		公共交通研究会・住民説明会等の開催数		回	11	5	5	7	10	2	
		公共交通空白・不便地域の居住人口の割合		%	28.4	19.6	19.6	19.6	19.6	10	
	成果実績										
		1 地域公共交通会議における協議事項等 ・第12回:和光市内循環バスの運行実績及び計画について、東武バスウエスト株式会社の市内循環バスからの撤退について ・第13回:株式会社和光輸送の市内循環バス実証運行の継続について ・第14回:和光市地域公共交通会議会長の選定、和光市地域公共交通計画の中間評価について、和光市地域公共交通計画の見直しについて									
		2 公共交通研究会・住民説明会等の概要 ・第17回:公共交通研究会ワークショップ(バス停留所の案内表記について、運行見直し後の市内循環バスの課題等について) ・住民説明会(計4回開催、自動運転バス2期社会実証の概要について)									
		3 自動運転サービス導入事業における自動運転バス2期社会実証 ・バス専用車線(約830m)及びバス停6箇所を整備し、自動運転レベル2走行による社会実証及び路車協調システム実証実験を実施した。									
		事業費		予算額	千円	261,351	294,693	225,944		6,517	17,810
				決算額	千円	221,614	265,119	208,134		0	執行率
				財源内訳	一般財源	千円	38,905	41,128		19,653	5,967
特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	182,709	223,991		188,481	550					
人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0	0				
	会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0	0				
	会計年度職員人件費		千円	0	0	0	0				

事業名		地域公共交通				予算事業コード		1172200						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		公共交通政策室		担当名		公共交通政策担当			
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる												
施策番号		2		利便性の高い地域公共交通網の形成							枝番号		3	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			B
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			B
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			A
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			A
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	公共交通空白・不便地域について、市内循環バスのみでの解消は困難であることから、当該バスに代替する他の交通手段による施策の実施が必要である。また、公共交通の運転手不足が課題であり、課題解決に向けての自動運転サービス導入事業に関する市民等への周知・理解醸成が不足しているため、説明会等により更なる周知・理解を進めていく必要がある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☒ 拡充 ☐ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	当市の地域公共交通ネットワークを維持・拡充するため、令和4年3月策定の和光市地域公共交通計画について、次期計画策定にむけて評価検証を行い、より利便性が高く持続可能な地域公共交通を目指す。また、自動運転サービス導入事業は、大型EVバスによる自動運転レベル2の社会実証及び社会実装を経て、安全性及び効果を検証した後に、自動運転レベル4(一部区間)による社会実装を目指す。

事業名		交通安全対策				予算事業コード		1062001				
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費		
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当	
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる								
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号	1

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務(義務的なもの) ☒ 自治事務(任意のもの)	
根拠法令等	交通安全対策基本法、和光市交通安全活動事業費補助金交付要綱	
事業の対象	一般市民、交通安全対策事業推進団体	
事業の目的	機関・団体が連携を図り、交通安全意識の高揚と市内における交通事故の撲滅を目指す。	
活動概要	季節ごとに行われる交通安全運動を効果的に展開し、市民総ぐるみで交通安全対策を推進する。	
補助金活用	なし	補助金名
実施形態	☒ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 協働・協力	
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人	
委託業務名		
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容

2. 事業の実績

DO

	指標名	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
実績	交通安全運動街頭啓発活動	回	0	3	4	3	4	4
	市内交通事故人身事故件数	件	249	213	183	0	0	0
	市内交通事故死者数	人	2	0	0	0	0	0
	具体的な成果の説明	交通安全啓発活動については、4月・7月・9月・12月の計4回街頭啓発を実施した。 交通安全対策のための注意看板を、6枚設置した。 交通安全教室については、警察及び学校と連携し市内9校の小学校において、1年生への横断歩道の渡り方指導と、4年生への自転車の通行方法指導を実施。その他、みなみ保育園では横断歩道の渡り方指導を実施した。 ※市内交通事故人身事故件数及び市内交通事故死者数は各年1月から12月(暦)の件数及び人数を標記している。						
費用	事業費	予算額	千円	31,909	30,055	36,645	36,458	6,180
		決算額	千円	29,641	25,838	30,465	—	執行率
		一般財源	千円	14,641	25,838	7,223	10,958	83.1%
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	15,000	0	23,242	25,500	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員数(パートタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費	千円	0	0	0	0	

事業名		交通安全対策				予算事業コード		1062001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号		1	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			B
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			B
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			B
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			B
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			C
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	交通安全事業推進団体会員の高齢化や新規加入者減少が年々進行しており、交通安全対策の担い手が減少している。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	交通安全啓発活動及び交通安全教室の実施は継続的に行うことが重要である。 例年交通安全教室を実施している小学生に加え、その他の世代へも交通安全運動等を通して啓発活動を行っていく。

事業名		駅南口自転車駐車場管理運営				予算事業コード		1064001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる												
施策番号		3			交通安全対策の推進						枝番号		2	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☐ 自治事務(義務的なもの)	☒ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	なし				
事業の対象	利用者				
事業の目的	自転車駐車場利用者が安全で快適に利用できるようにする。				
活動概要	駅に隣接した自転車駐車場であり、利用しやすいよう管理・運営に努める。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力				
委託先	☒ 第3セクター・財団法人 ☒ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名	和光市駅南口自転車駐車場管理運営業務、消防用設備及び出入口シャッター設備点検業務、搬送用ベルトコンベアー点検業務、ラック保守点検業務、給排気設備保守点検業務、機械警備業務、自家用電気工作物保安管理業務・受電設備点検及び保守業務、和光市駅南口自転車駐車場内清掃業務				
会計年度職員	—	人	会計年度職員 業務内容		

2. 事業の実績

DO

			単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度		
指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標		
実績	活動実績 成果実績	自転車駐車場使用料		千円	88,463	89,753	92,153	90,000	90,000	90,000	
		自転車駐車場利用者数(定期)		人	28,708	29,325	28,801	29,500	29,500	29,600	
		自転車駐車場稼働率(定期)		%	89.6	96.7	95	97	97	98	
		自転車駐車場利用台数(一時)		台	162,089	169,884	181,284	170,000	170,000	160,000	
		具体的な成果の説明	一時使用では、一部車種の収容に過密状態が見られ、場内での事故防止のため、台数調査を実施し、駐車場所の制限に着手した。 駅前への放置自転車の防止に資する、利用者が安心して利用できる自転車駐車場を提供した。								
費用	事業費	予算額		千円	51,292	65,860	51,662		7年度	不用額	
		決算額		千円	50,142	62,040	48,227		52,449	3,435	
		財源内訳	一般財源		千円	5,350	0		0	0	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	44,792	62,040		48,227	3,449	93.4%
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)		人	0	0	0		49,000		
		会計年度職員数(パートタイム)		人	0	0	0		0		
		会計年度職員人件費		千円	0	0	0		0		

事業名		駅南口自転車駐車場管理運営				予算事業コード		1064001						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号		2	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			A
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			C
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			B
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			C
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			B
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	より効率的で利用者へのサービス向上に資する運営体制の検討が必要である。また、設備の老朽化が進んでいるため、適切なメンテナンスと設備更新に課題がある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	都市計画により、交通結節点である駅前広場の地下から和光市駅に直結した自転車駐車場として設置している。一時使用台数については、一部車種の受入れ台数超過による狭あいの状況は継続しており、業務委託先の理解を得ながら場内の安全確保を優先し、段階的に目標値に近づける。 利用者が多くニーズが高い。事業課題への取り組みを続けながら、運営を継続する。

事業名		放置自転車対策				予算事業コード		1064002						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号		3	

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☐ 自治事務(義務的なもの)	☒ 自治事務(任意のもの)
根拠法令等	なし				
事業の対象	一般市民等				
事業の目的	放置禁止区域の公共空間を保持し、また環境美化を促進する。				
活動概要	放置禁止区域において月4回程度の放置自転車等の撤去を行う。				
補助金活用	なし	補助金名			
実施形態	☐ 市による単独事業 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力				
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☒ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人				
委託業務名	放置自転車等撤去・保管管理業務委託料				
会計年度職員	— 人	会計年度職員 業務内容			

2. 事業の実績

DO

				単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度		
	指標名				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標		
	活動実績 成果実績	撤去の回数			回	72	48	48	48	48	48	
撤去した台数			台	209	177	184	180	180	170			
返還台数			台	62	55	64	55	55	70			
実績												
	具体的な成果の説明			放置自転車等撤去及び返還台数 種別 撤去 返還 返還率 自転車 183台 64台 35.0% 原動機付自転車 1台 0台 0.0% 令和5年度から撤去日を減らしているが、駅周辺の放置自転車の大幅な増加等は見られない。受益者負担等の観点から、令和4年度に無料から有料に転換した外環上部の自転車駐車場の利用状況も好調であることから、公営の駅南口自転車駐車場と併せ、自転車の駐車需要に概ね対応ができていることで放置自転車が少ないものと考えられる。								
費用				単位	4年度	5年度	6年度		7年度	不用額		
	事業費	予算額			千円	10,075	8,408		8,366	8,388	210	
		決算額			千円	9,945	8,195		8,156	－	執行率	
		財源内訳	一般財源			千円	742		495	0	8,262	97.5%
			特定財源(国県補助、利用者負担等)			千円	9,203		7,700	8,156	126	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)			人	0	0		0	0		
		会計年度職員数(パートタイム)			人	0	0		0	0		
会計年度職員人件費			千円	0	0	0	0					

事業名		放置自転車対策				予算事業コード		1064002						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号		3	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			B
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			B
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			B
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			B
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			B
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			B
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある		
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	原動機付自転車に特定小型原動機付自転車(電動キックボード)の区分が追加される等、モビリティの多様化が進んでいる。従来の自転車・原動機付自転車と形態が異なったり、区別が付きにくいものも増加してきているため、市内での普及状況や法改正等を注視しながら対応を進めていく必要がある。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	撤去数の増加等の変化に注意しながら、このまま継続する。

事業名		交通安全施設整備				予算事業コード		1172002				
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費		
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当	
目標像		2 安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号	4

1. 事業の概要

PLAN

事務区分	☐ 法定受託事務			☒ 自治事務(義務的なもの)		☐ 自治事務(任意のもの)	
根拠法令等	道路法						
事業の対象	一般市民						
事業の目的	道路利用者の安全対策を図る。						
活動概要	道路交通に付随する交通安全施設(路面表示・道路反射鏡等)を整備することにより、交通事故を防止する。						
補助金活用	なし	補助金名					
実施形態	☒ 市による単独事業 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 協働・協力						
委託先	☐ 第3セクター・財団法人 ☐ 企業 ☐ 市民団体・NPO法人						
委託業務名							
会計年度職員	－	人	会計年度職員 業務内容				

2. 事業の実績

DO

指標名		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	12年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	最終目標
活動実績 成果実績	路面標示の施工箇所	箇所	4	12	10	15	15	15
	道路反射鏡の設置及び修繕	基	20	17	11	30	30	30
	路面標示の施工総延長	m	816	1,688	3,007	7,000	7,000	7,000
実績	具体的な成果の説明	道路照明灯 設置 3箇所 撤去 1箇所 修繕 31箇所 道路反射鏡 設置 0箇所 撤去 1箇所 修繕 11箇所 道路標示 実線・破線 1,980.0m 矢印・文字等 1,004.7m カラー標示 22.1㎡ 線消去 0m 道路照明灯、道路反射鏡による視界の確保や路面標示による注意喚起により、交通事故防止のための安全施策を実施した。 道路標示についても、安全啓発への適切な施工が実施された。(施工延長については目標値を下回っているが、カラー標示及び矢印・文字等の施工を多く実施している)						
費用	事業費	予算額	千円	18,872	20,632	18,817	18,817	2,303
		決算額	千円	14,846	19,982	16,514	—	執行率
		財源内訳	千円	5,651	11,752	3,853	3,617	87.8%
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	9,195	8,230	12,661	15,200	
	人件費	会計年度職員数(フルタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員数(パートタイム)	人	0	0	0	0	
		会計年度職員人件費	千円	0	0	0	0	

事業名		交通安全施設整備				予算事業コード		1172002						
款	08	土木費		項	01	道路橋りょう費		目	04	交通安全対策費				
部局名		都市整備部			課室名		道路安全課		担当名		交通安全担当			
目標像		2		安全かつ快適に移動ができる										
施策番号		3		交通安全対策の推進							枝番号		4	

3. 事業の評価

CHECK

	評価項目			評価
必要性	①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか			B
	A 高まっている	B 変わらない	C 少なくなっている	
公共性	②【市の役割】事業の実施主体として市が適切ですか			A
	A 市が最適である	B 市と他の主体の協働が適切	C 他の主体が適切	
	③【市場性】事業は民間市場では十分に提供されないサービスですか			A
	A 民間では提供困難である	B 一部民間でも提供可能である	C 民間でも十分提供可能である	
経済性	④【コスト削減】事業のコスト削減の余地はありますか			A
	A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある	
	⑤【コスト】受益者負担の水準は適切ですか			A
	A 適切である	B 引き上げる余地がある	C 引き下げる余地がある	
事業の見直し	⑥【実施方法】現在の事業実施手段・方法は最も効率的ですか			B
	A 最も効率的である	B ある程度効率的である	C 改善の余地がある	
効率性	⑦【費用対効果】投入コストに対して得られる効果は適切ですか			A
	A 非常に効果が高い	B ある程度効果がある	C あまり効果がない	
	⑧【業務改善】費用対効果、時間対効果に対してICT等の活用による業務プロセスの改善を行っていますか または改善の余地はありますか			B
	A 行っている	B まだ改善の余地がある	C ICT等は活用していない	
	⑨【事業規模の縮小】他事業や他機関との連携・統合による効率化の可能性はありますか			A
A ほとんどない	B ある程度ある	C 大いにある		
施策への 貢献度	⑩【達成度】施策の目標達成に向けて事業の貢献の度合いはどうか			A
	A 貢献している	B やや貢献している	C あまり貢献していない	
事業の課題	道路パトロールや市民要望等により、交通安全施設の適宜改善を実施しているが、全てを満足させる対応には至っていない。			

4. 今後の方向性

ACTION

今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小・見直し ☐ 休止・廃止
今後の方向性の判断理由・今後の取組等	交通量や緊急度、通学路としての指定状況を基に、計画的な整備を継続し、交通事故等の抑制の一助となるように努め